

## 校長職としての再任用の試行実施について（案）

義務教育課

### 1 趣旨

学校には、学力・体力向上、生徒指導の充実などの様々な教育課題があり、校長は、これまで以上に、リーダーシップ、マネジメント力を発揮して、これらの教育課題に対応することが必要となっている。一方で、校長、教職員の大量退職時代を迎えている中、学校経営等の知識、技能を伝播できる環境を整えることが一層重要となっている。子どもたちのために望ましい学校環境を整え、本県教育の継続、安定を目指す目的で試行を実施する。

### 2 経過

本年度は、4ブロック4名を校長として再任用して試行実施している。

配置した学校においては、各学校の教育課題の解決に対して力を発揮しているという評価を得ている。さらに、学校経営等の相談に日常的に応じられる存在として評価も高い。このような中、県全体での規模はどの程度が望ましいのかという課題も見えてきている。

### 3 30年度の試行実施

再任用を行う校長の職務を明確にしつつ、さらに様々な教育課題に対応できるよう配置を広げ、効果を検証する。

#### (1) 職務

- ・学校経営ビジョンのもと、内外の資源を活用して自校の教育課題を解決するとともに、その過程を具体的に示す。
- ・各学校の教育課題を具体的に把握し、アドバイザーとして、校長の学校マネジメントに関する助言を行う。

#### (2) 試行の規模

本年度からの4名に加え、新規4名程度。

#### (3) 選考対象、選考方法等

- ・県内の小中学校の校長で退職し、高度の知識や経験、能力を有し、人望やリーダーシップがある者のなかから、面接、書類により選考する。
- ・任用は1年間、給料は4級とする。

### 4 試行実施後

試行結果を評価するとともに、制度化にあたっては国の定年延長の動向にも留意する。